

## 《学部消息》

### 教授会メモ

11月17日(水) 定例教授会

理学部4号館1320号室

- 議題 (1) 前回議事録承認  
(2) 人事異動等報告  
(3) 昭和58年度文部省内地研究員の受入れについて  
(4) 寄附の受入れについて  
(5) 人事委員会報告  
(6) 教務委員会報告  
(7) 企画委員会報告  
(8) 入試教科目検討専門委員会報告  
(9) その他

12月22日(水) 定例教授会

理学部4号館1320号室

- 議題 (1) 前回議事録承認  
(2) 人事異動等報告  
(3) 寄附の受入れについて  
(4) 人事委員会報告  
(5) 会計委員会報告  
(6) 教務委員会報告  
(7) その他

〔次回以降予定：

昭和58年1月19日(水) 13時30分より

2月16日(水) 同 上

3月16日(水) 同 上

◎同日の教授会に先だち13時より、同場所〔理・4号館会議室(3階1320号室)〕において、「大学等の理科系教官のコンピューターによる研究活動度の評価への試み」について、有馬教授(物理学教室)からお話しがあり、ご希望の方の参加があった。

### 行事予定

12月28日(火) 御用納め

1月4日(火) 御用始め

1月15日(土) } 共通第一次試験

1月16日(日) }

3月4日(金) } 第二次学力試験

3月5日(土) }

3月28日(月) 卒業式

3月29日(火) 学位授与式

## 名誉教授との懇談会

恒例の理学部名誉教授懇談会が、平野総長をお招きして、11月27日（土）正午から、学士会分館において、午餐をかねて行われた。

本年は、木村健二郎先生（86才）をはじめ多数の先生方と江上学部長、田丸元学部長および田村評議員など44人の出席を得て、近年になく盛会でした。

田村事務長の開会の後、江上学部長から、最近の理学部の研究の一つとして附属中間子科学実験施設の紹介があり、同施設長山崎教授による『中間子科学実験施設の現状について』と題する特別講演が熱心に行われ、今後の研究の進展に大きな注目と期待がよせられた。

中庭で記念撮影の後、江上学部長から、ごあいさつと化学館C棟の新築工事等学部の近況報告があり、木村先生の音頭による乾杯につづいて、平野総長からごあいさつがあった。平野総長は、創

立100年記念の建物の本郷記念館及び国際学会館の建設を評議会で決定したこと、理工系の実験設備のための新キャンパスを求めていること、若手研究者の養成の問題を検討していること等のご報告があり、学会館が完成した際には、ロビーでお寛ぎいただきたいと話された。また、田丸教授（総長特別補佐）から、有馬教授（物理）を中心に行っている学内共同研究、『理系教官のコンピューターによる業績評価の試み』の紹介があり、反省として、東大の先生はもう少し忙しくなくして勉強しなければいけないと発言があった。

名誉教授の先生方からも近況報告や学部への要望などのご発言が相つぎ、終始和やかな中に次のようなご発言があった。

（木村先生）「こういう楽しい会をはじめることを考え出して実行された一番はじめの理学部長だった坪井忠二先生が亡くなられたのは残念なこと



である。」

(山内先生)「坪井君とは高校から一緒だったが、友だちが亡くなるのは心細いことで、自分もそろそろと思って、不養生して毎日酒を飲み、運動もしないでいるが、まだどこも悪くならず、仲々思うようにならない。」

(茅先生)「私は84才になるが、永生きの秘訣は、仕事をする時に頭を使っても気を使うなと考えてきたが、仕事を段々に整理したら、気を使う仕事ばかりが残ってしまって非常に困っている。去年、中国の薬の名所昆明へ行ったときに『青春回復』と云う薬があったので念のため買ってきて、家内と二人で朝三粒、夜三粒飲んでいる。あまり若返りすぎたら、お互いに気をつけて止めようと云っているが、薬が無くなるとおみやげに買ってきてくれる人もあり、青春回復が今も続いている。」

(小谷先生)「今年7月に、東京理科大学々々3期12年の任期を終えて、全く自由の身になったが、この間に東大で経験しなかった、根廻しに代表されるような日本的な社会を経験したが、自分は頑固であり変っていない。」

(渡辺先生)「若い頃からサッカーで足を鍛えていたが、パーキンソン氏病に罹り、体の調子のいい時に鉱山採集に行っている。古い資料をすぐ使える形で保存する総合資料館をもっと充実してもらいたい。」

(赤松先生)「昨年分子科研究所長を70才停年でやめたが、3年前に喘息に罹り、これを2年かかって克服したところ、今度はパーキンソン病になった。この病気の原因は判らないから治せないが、現象は全部判っているので、研究室がなくなった替りに自分の体をラボラトリーにして、この病気をコントロール出来るようになった。医者も奇跡だと云っているのです、そのうちに“パーキンソンと親しむ法”とでもいう本を出そうかと思っているので、渡辺先生もがんばってください。」

(吉田先生)「学習院を3年前やめて今のところ元気ですが、何かむつかしい病気ができたら、お

近くの赤松先生にご相談します。」

(森野先生)「昔、赤松さんと化学新館をつくったが、もうそれも古くなって、いよいよ化学教室が新しくなると聞いて非常にうれしい。汚ない建物で化学実験の教育を受けると、ものを始末する習慣がつかなくて、机の上をせまくして、隅で実験をするようになる。狭い本郷を如何に有効に利用するか、これには、建物とともに内部設備を充実することが重要なので、現役の方をお願いしたい。」

(鈴木先生)「昨年、文化交流で中国へ行ってきたが、北京とちがって、杭州等の中国人が日本人とそっくりなので、日本人が蒙古系であるとは云われているが、中国南部からきたということを感じてきたので、注目すべきだと若い人達に云っている。」

(前川先生)「西アフリカ、マダガスカルの主食植物で、大豆より栄養価の高い“バンバラビーン”を小豆島で栽培してもらって、この秋4株残り、32粒収穫した。日本の食糧事情に何かプラスになればと思って、来年を期待している。」

(原先生)「植物の研究は永くかかり、在職中から20年かかったヒマラヤの研究のうちネパールの部分が3巻の本となり、大英博物館と東京大学との共同研究として出版された。これらに用いた資料は、総合研究資料館に入れるべきものであるがスペースがないので、よろしく願いたい。」

田村評議員から、久保先生が学術会議月報に書かれた老人研究所(老人による研究所)構想についての質問と、もし設立されたら入れていただきたいとの要望があった。

(久保先生)「老人研究所はエッセイをたのまれて、時々、山上御殿あたりでだべっていたことを記したものである。事態の急変があって私が日本学術会議会長になったが、10何年前大学紛争で執行部が総辞職して学部長になった時のことを思い出した。」この後久保先生から、学術会議改革の問題についてご説明があった。

(桑原先生)「昨年から、現職の小中高教員の再教育の学校である兵庫教育大学で教えているが、物理というのは暗記ものであるという観念があるらしいので、身の廻りのこと、たとえば物体を水中に落した時の運動などを例にしてでも自然科学の面白さを先生方に教えようと思って実験している。」

(野田先生)「今年から名誉教授の1年生です。電通大学であまり化学を勉強したくない学生に、どう教えるかを勉強しております。」

このほかすべての名誉教授からのご発言があり、この懇談会を毎年継続して開催してほしいとの強い要望もあり、理学部の発展とご健康そして再会を誓い、閉会を惜しみつつ、午後3時30分散会した。

#### 出席名誉教授

木村健二郎, 和田文吾, 山内恭彦, 鍋木政岐, 茅 誠司, 竹脇 潔, 小谷正雄, 彌永昌吉, 渡辺武男, 石田寿老, 藤田良雄, 森野米三, 前川文夫, 吉田耕作, 藤井 隆, 赤松秀雄, 原 寛, 田中信徳, 高井冬二, 鈴木 尚, 岩生周一, 門司正三, 今井 功, 河田敬義, 立見辰雄, 斎藤信房, 木原太郎, 久保亮五, 佐藤 久, 桑原五郎, 野田春彦 の各先生

(31名)

(文責 事務長補佐 神戸和雄)

\*\*\*\*\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*  
\*\*\*\*\*

### ◎泥棒がねらっている (盗難注意) ！

本郷構内は泥棒天国といわれています。いたるところで泥棒 (盗難) の被害にあっています。あなたのちょっとした注意で被害をくいとめられます。

～最近被害続出～

## 人 事 異 動 報 告

### (助 手)

所属	官職	氏 名	発令年月日	異動内容	備 考
中間子	助 手	早 野 龍 五	57. 11. 1	昇 任	高エネ研助教授へ
中間子	助 手	西 山 樟 生	57. 11. 1	昇 任	中間子教務職員より
化 学	助 手	永 田 敬	57. 12. 1	採 用	
人 類	助 手	徳 永 勝 士	58. 1. 1	採 用	

### (講師以上)

天 文	助 授 授	小 平 桂 一	57. 11. 1	昇 任	東大東京天文台教授へ
分 光	助 授 授	斎 藤 太 郎	57. 11. 1	昇 任	大阪大学(工)教授へ
物 理	助 授 授	佐 藤 勝 彦	57. 12. 1	昇 任	京大助手(理)より

### (職 員)

化 学	用 務 員	杉 本 瑛	57. 11. 16	採 用	
物 理	事 務 官	当 山 千 鶴 子	57. 12. 1	配 置 換	経理部より
物 理	事 務 官	大 石 道 子	57. 12. 31	辞 職	自己都合
化 学	用 務 員	氏 江 正 一	57. 12. 31	勸 じ ょ う 退 職	
地物研	技 官	富 田 加 三	57. 12. 31	勸 じ ょ う 退 職	

### (外国人特別招へい教授)

氏 名	国 籍	雇用期間	備 考
GASIOROWICZ		57. 9. 17	ミネソタ大学
STEPHEN GEORGE	ア メ リ カ	～	教 授
GRANT		57. 12. 17	

## 外国人客員研究員報告

所属	受入れ教官	国籍	氏名	現職	研究員期間	備考
物理	和田昭教授	アメリカ	John F. Brandts	マサチューセツツ大学教授	57.11. 2 ～ 57.12. 7	日本学術振興会 外国人招へい研究者
植物	駒嶺助教授	インドネシア	Estiti B.Hidajat	バンドン工科大学助教授	58. 3.21 ～ 58. 4.19	日本学術振興会 発展途上国との科学協力事業招へい研究者
動物	水野教授	インドネシア	L. A. SUTASURYA	バンドン工科大学講師	58. 1.10 ～ 58. 4. 9	"
地質	久城教授	フランス	Pierre Boivin	CNRS研究員	58. 1. 1 ～ 58. 6.30	
中間子	山崎教授	ドイツ連邦共和国	Georg M. Kalvius	ミュンヘン工科大学教授	58. 3. 8 ～ 58. 4.30	東大百年記念事業 外国人招へい研究者

## 東京大学職員の永年勤続表彰

57. 9. 30	附属植物園	宮入 勇 殿
57. 12. 31	化学科	氏江 正 一 殿
"	附属地球物理研究施設	富田 加 三 殿

勸奨による退職に際し表彰され、記念品が贈られた。

毎月 1 日は

「省エネルギー」

の日です。

## 海外渡航者

(10 月)

所属	官職	氏名	渡航先国	渡航期間	渡航目的
物理	助手	三 明 康 郎	アメリカ合衆国	10.26~12.31	加速器改造後の実験のため

(11 月)

所属	官職	氏名	渡航先国	渡航期間	渡航目的
天文	教授	海 野 和 三 郎	インド	11.30~ 58. 1. 10	恒星対流層の研究実施のため
地物	助教授	松 野 太 郎	アメリカ合衆国	11. 7~11.14	日米セミナー「中層大気の力学」出席のため
情報	教授	国 井 利 泰	アメリカ合衆国	11. 1~11.14	COMPSAC '82 出席及び研究討議視察のため
植物	教授	飯 野 徹 雄	アメリカ合衆国	11. 7~11.12	日米科学技術協力事業「組換えDNA」にかかわる日米合同ワークショップ「真核細胞におけるDNAの複製と形質発現」出席のため
植物	助手	原 山 重 明	スイス	11.30~ 58. 12. 5	シュードモナス属のTOLプラスミドの遺伝生化学研究のため
素粒子	助手	小 林 富 雄	ドイツ連邦共和国	11.10~ 58. 3. 5	国際協同実験—電子・陽電子衝突実験のため
数 学	教 授	岩 堀 長 慶	シンガポール	11.15~ 58. 3. 22	代数学に関する調査研究のため
地物	助手	松 井 孝 典	アメリカ合衆国	11. 9~12.15	コンドリュールとその起源に関する会議, 1982年度アメリカ地球物理学連合秋季学会出席及び地球・惑星内部物理学研究のため
物 理	教 授	西 島 和 彦	インド	11. 7~12.19	場の理論における異常性の研究実施のため
人 類	教 授	埴 原 和 郎	アメリカ合衆国	11.24~12. 1	海外学術調査の対象地域諸国における受入の研究状況調査のため
中間子	助手	今 里 純	スイス	11.26~12.17	大強度中間子・反陽子ビームによる原子核・物性に関する調査研究(予備調査)のため

( 12 月 )

所属	官職	氏名	渡航先国	渡航期間	渡航目的
物理	助教授	鈴木増雄	アメリカ合衆国	12.11~12.19	核融合プラズマにおけるカオスの統計物理の研究のため
化学	教授	不破敬一郎	台湾	12.12~12.19	中国化学会50周年記念年会出席のため
地物研	教授	福島直	アメリカ合衆国	12.29~ 58. 1. 14	MAGSAT 報告会議出席, MAGSAT 研究者との打合せ及び国際地球電磁気学, 超高層大気物理学協会 (IAGA) 事務連絡のため
情報	教授	国井利泰	アメリカ合衆国	12.14~12.22	インター・グラフィックス '83 に関する打合せのため
物理	助教授	江口徹	イタリア, ドイツ連邦共和国	12.12~12.29	非摂動的場の理論と量子色力学会議出席及び高エネルギー物理学に関する研究連絡のため
動物	教授	江上信雄	シンガポール	12.29~ 58. 1. 2	動物学に関する研究連絡のため

あなたです!

火事を出すのも

防ぐのも